

—— 律関連テキストについて ——

Phra Putthabat-tamo 寺院(チェンマイ)では、2008年から以下の律(vinaya)関連テキストの和訳、編纂、出版が行われて来ています。

① PĀṬIMOKKHA

比丘パーティモッカニニ七戒経(2011年初版、2016年第二版)

② UPASAMPADĀ

テーラワーダ仏教の出家作法(2014年初版、現在絶版、再版は未定)

③ VINAYAPAÑÑATTI

テーラワーダ仏教の比丘戒律(2017年初版)

現在、これらのテキストは国会図書館、都立図書館、県立の各図書館と、仏教系大学、一般大学など約百五十カ所の図書施設に所蔵されています。

今回、このダンマサイトにテキストおよび情報を提供する理由は、テーラワーダ仏教の構造を知る上で欠かすことのできない「法」と「律」を学び、その理解を望む方を支援することにあります。

上記の律関連テキストは、仏教学者、研究者、日本人テーラワーダ比丘等による研究会、編集会議によって編纂され出版したのですが、その印刷、発送に関するすべての費用は、タイ人仏教徒、日本人仏教徒の方々の布施によって賄われています。タイ国内でよく行われる布施行としての「法施本」の発行、配布は積善行為として知られているのですが、日本にはこの種の仏教習慣の伝承がないこともあり、日本国内の図書施設に送付し、所蔵図書に加えていただく事も出版の目的のひとつになっていました。

インターネット環境が加速度的に進歩し、より自由に、より広範にテキストの提示が可能な現状にあり、現在絶版になっている上記②の『テーラワーダ仏教の出家作法』をふくめ、可能な限り既存のテキスト類をウェブサイト公開することにしました。

①の比丘パーティモッカ二二七戒経と、③のテーラワーダ仏教の比丘戒律については、中山書房仏書林にハードカバー本の流通に関して協力をお願いしていますが、これは印刷本を手元に置きたい方のためのもので、比丘サンガは発生した利益について関与することはありません。

在家仏教徒の方々の布施行が法施本、あるいはデータテキストとして活かされ、ひとりでも多くの方に、原始、初期仏教、テーラワーダ仏教の「法」と「律」そして修行実践をふくめた仏教の全体構造を理解するための導きとなることを願っています。

Phra Mahāpunnyō